

「市民課生活環境班」から身近な情報をお届け

① 悩み問題について

安心して快適に住み続けられるまち、ずっと住みたいまちづくりを目指して、市民の皆さんと協働して取り組む課題などをテーマに連載します。今回は「**ごみ問題**」について考えてみましょう。

平戸市では一人当たりのごみの量が増加傾向にあります。また最近では、市内一円において不法投棄や海岸漂着ごみが増加しています。

これらを解決するために、一人一人が「ごみ減量化」「環境美化」を意識しましょう。

家庭ごみ「ごみ出し3原則」

- ① 指定袋の適正利用
- ▼ビン類は資源(大)の袋に入れない。
- ▼水分をよく切る。
- ▼袋をガムテープでふさが

ないなど

② 時間・場所の厳守 地域ぐるみで地域の衛生環境、景観を守りましょう。

③ 古紙やビン類は分別・リサイクル 再資源化を図り、循環型社会実現を目指しましょう。

※詳しくは、各家庭に配布している「ごみ出し便利帳」を確認してください。

事業者の皆さんへ

事業所や店舗で発生するごみ(産業廃棄物以外)は、北松北部クリーンセンターへ搬入するか、市の許可を得た収集運搬業者に委託するなど適切に処理し、環境に配慮した地元企業として、環境美化の推進にご協力ください。



市民課生活環境班 ☎22-9121

「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です!

— みんないさいいさ元気に —

高齢者の通いの場訪問

VOL.57

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。

このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介いたします。

問 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133



「わくわくミックス60」

飯良地区では、平成30年5月から平戸よかよか体操を行う通いの場を始めました。「小さい子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人が参加して交流(ミックス)した後に、わくわくとした気持ちになるように」という思いで「わくわくミックス60」と名付けました。

よかよか体操のほかにも、月に1回茶話会をしたり、花見や紅葉狩りなど季節ごとのイベントを行ったりして交流する機会をたくさんついています。

活動日/毎週(木)午前9時~午前11時
活動場所/飯良公会堂
開催地区/飯良
代表/濱田 三美



Interview

わくわくミックス60
代表
濱田 三美さん
(飯良町)



通いの場ができる以前は、高齢者が集う機会がほとんどありませんでしたが、地域の皆さんの「みんなで集まって健康増進や長生きするための取り組みをしたい」という声から、この通いの場を始めました。

参加者はひとり暮らしの高齢者が多いのですが、健康維持や見守りを兼ねた交流をする楽しい場所になっていると感じます。

飯良町で生まれ育った人が多いので、今後は、市外での食事会や日帰り観光旅行にも行き、非日常体験で”わくわく”したいと話しています。

平戸とオランダ - Hiradutch -

vol.18

コロナ禍の勝者

コロナウイルスの驚異が世界を襲い始めてから1年以上が経ちますが、落ち着くどころか現在は、第4波が到来したと言われています。

オランダでは全国的な夜間外出禁止令が発令されており、夜10時から朝の4時半まで、特別な事情を証明する書類を持ち合わせていない限り、外出することができません。

違反すれば、95ユーロ(約1万2千円)の罰金を課されます。その特別な事情にの1つが、犬の散歩です。

オランダでは、犬の散歩サービスやボランティアが一般的であり、共働きの家庭はお金を支払い、犬の散歩をお願いすることがよくあります。



国際交流員
ポエト ボニー
(オランダ王国出身)

しかし、夜間外出禁止令下では、その逆の現象が起きています。つまり、お金を払ってでも犬の散歩に行きたがる人がでてきたのです。

コロナ禍において窮屈な毎日を送っているこの1年。もう少し我慢する日々が続きます。しかし、オランダに住む犬だけが、この現状を喜んでいるのかもしれない。

問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143